



# ずししかんきょうかいぎ ニュース

2022年10月号



## ◇◇◇ずしグリフェス参加報告◇◇◇

20年以上の長きにわたり開催されてきた「ずし環境フェスティバル」が、本年より「ずしグリーンライフフェス（略：ずしグリフェス）」としてリニューアルされました。ずしグリフェスの模様についてご紹介します。

6月11日～6月12日に逗子文化プラザにて開催された「ずしグリーンライフフェス」に参加しました。

「ずし環境フェスティバル」というルーツは大切にしつつも、新たにテーマを「持続可能な未来を創るために選択するやさしい暮らし」とし、環境問題だけでなく、福祉や防災・減災といったことにも広げ、より多くの団体や人々にやさしい未来について考え意識してもらうためイベントでした。

ずしし環境会議による「ずしし環境会議展」や展示・講演、市との共同企画ブレスト大会「グリコン」、福祉関係の「フードドライブ&お米一合運動」、防災・減災関係の「ジオ神奈川の展示と紙芝居」、市内清掃イベント「市内一斉クリーン大作戦」、若者世代によるエコや環境についての展示発表、リサイクルやリペア、エコ実験、グリーンライフなコンクール、エコツアー、露店でのショップやワークショップにライブコンサート、街頭募金活動などなど、様々な団体や個人に支えられ大盛況のうちに幕を閉じました。



**① 街頭募金活動**  
JR 逗子駅前毎週金曜日 18時～19時募金活動を行いました。大勢の方の善意の募金額は19,743円。募金はグリフェスの運営に使わせて頂きました。ご協力ありがとうございます。

**② 環境作文・絵画・川柳コンクール**  
作文、絵画、川柳の3部門に多数の応募があり、応募作品の中から各部門とも逗子市長賞一席、教育長賞一席、審査委員特別賞は絵画二席、作文・川柳一席などを選びました。

**③ 市民クリーン作戦**  
当日は途中ゴミ拾いをしながらフェスティバルパークに集合。こんなにゴミを回収しました。



当日ゴミ拾いをしました

④ グリコンスタッフ



# まちなみと緑の創造部会 ニュース

当部会では、「遊子の自然環境を次世代にどのように伝えるか」をテーマとして活動を続けています。

## ◇◇◇秋の植物観察会のおしらせ◇◇◇

秋の植物観察会を実施します。今回は外来種をメインに観察します。以前から問題になっている外来種ですが、何が問題になっているのか、外来種はどのように扱ったらよいのか、などを実際見て触って楽しみながら学びます。

池子の森では、外来植物の駆除活動をしています。それでもたやすく駆除できるものではなく、自然が豊かにみえる池子の森でも驚くほどたくさんの外来植物がみられます。

みなさんなじみのオオイヌノフグリやヒメオドリコソウは早春にみられますが、それらも外来植物です。秋の彼岸の頃に咲く日本の風景にすっかりなじんだヒガンバナは中国原産です。キクイモは戦後の食糧難のときによく植えられたと聞きます。アメリカ原産の外来植物ですが当時の人々の飢えをしのぐため地下茎のイモを食用にしたようです。今でもときどきキクイモを料理にする店がありますね。

日 時 2022年10月23日(日) 9:30~12:00

場 所 池子の森自然公園

集 合 朝 9:30 池子の森管理事務所前に集合

装 備 動きやすい服装・運動靴等 あればルーペ

申込み メール [machi73zusi@gmail.com](mailto:machi73zusi@gmail.com)



ヒメオドリコソウ



キクイモ

## ◇◇◇こんちゅう観察会を実施しました◇◇◇

新型コロナウイルスの感染拡大の影響で、2020年と2021年の観察会はまったく開催できませんでしたが、今年ようやく実施できることになり、おおよそ3年以上ぶりのこんちゅう観察会を2021年7月31日に実施しました。30名定員のところ、50名以上の応募があり、わたしたちも驚きでした。久しぶりということもあってか、あまりに反響が多いため定員を超えても期待に応えたいということで市の担当のかたとも協議し、最終的には当日53名の参加となりました。

講師はいつものように厚木市郷土博物館の槐先生です。今回はみんなが捕まえたこんちゅうに槐先生がマーキングして放す、という形式で行いました。

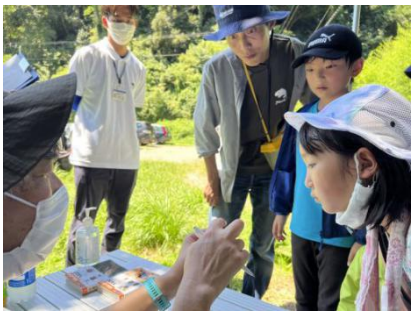




さあ、捕まえよう！



びっくり！なこんちゅうのお話し



槐先生から魂の解説



著作の図鑑をサイン入りで即売会

当日は天気もよく、真夏の暑さでしたので、少し時間を短くしました。それでも、参加者の皆さんは次から次へと捕まえたこんちゅうを槐先生のところへ持ってきて、虫の名前を聞いていました。オオシオカラトンボ、オニヤンマ、ミンミンゼミなど夏の主演たちが登場してきました。最後に槐先生からひととおりこんちゅう観察のお話を聞いたあと、槐先生の著作の図鑑の現地出張販売会となり、先生直筆のサインのサービス付きで無事終了しました。

### ◇◇◇名越緑地便り◇◇◇

久木9丁目にある名越緑地では引き続き湿地の再生作業をしています。

外来種のセイタカアワダチソウは昔に比べたら本当に少なくなりましたが、ここにきてまた少しだけ増えてきたかな？という感じになりました。なかなか手を付けられないところに、したたかに数を殖やしているのでしょうか。

根絶はできないものです。大暴れしなければ図らずとも共存の道を受け入れていくしかないようです。

つる植物のカナムグラは昨年度にかなり力を入れて駆除したので、今年の芽出しは例年に比べたらほとんど見かけないくらい少なくなりました。しかし、少し油断すると数株の苗が大きく広がって覆ってしまいます。絨毯を丸めて片付けるようにカナムグラの絨毯をまくり上げて剥がすように駆除していきます。大変ですが、作業前とは違う、風通しのよさそうな草地をみるとやった甲斐があると充足感に浸ります。

まちなみ部会ではこんな感じの作業を手伝ってくださる仲間を随時募集しています。是非わたしたちと一緒に作業してみませんか？連絡先はメールにて。

Mail : [machi73zusi@gmail.com](mailto:machi73zusi@gmail.com)





# ごみ問題部会ニュース

ごみ問題部会は、ごみの減量化、資源化をテーマに活動しています。

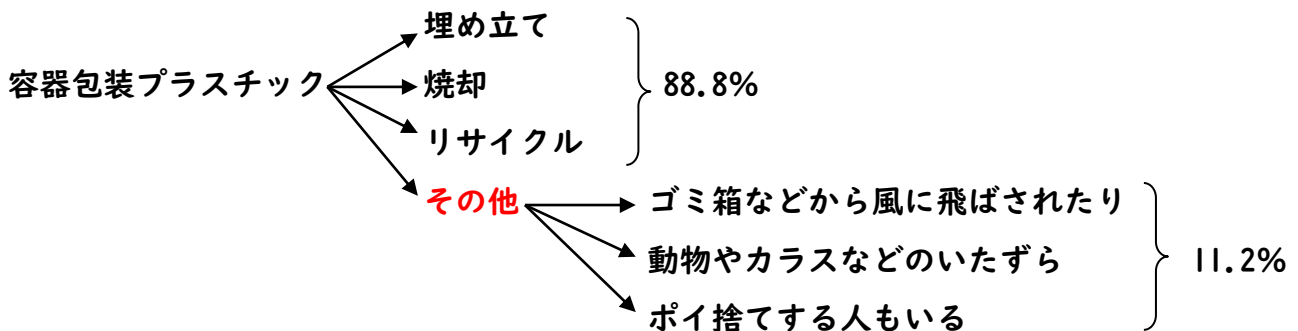
豊かで快適な生活を求めて、国民総生産を増大させてきた中で、私たちは地球全体に対して、どんな負荷をかけてきたのか、温暖化ガスの排出によって気候変動、森林破壊、生物多様性の減少、また大量のブラごみよっての海洋汚染の問題と、地球環境の破壊の深刻さは地球の持続可能性を越えてしまいそうです。ごみ問題として今回はプラごみについて学んでいきたいと思います。

## 海洋プラスチック汚染の現状と対策

プラスチックは石油から作られます。

年間4億トンのプラスチックが生産されています

その中の約4割が容器包装プラスチックですから、1度使ったらすぐごみになってしまいます



### 1. その他のプラスチックはどこへ？



図1 住宅地を10分間歩いて拾ったプラごみ



図2 雨で洗い流されて川に入っていく



図3 最後は海へ、ペットボトルが多い

容器包装プラスチックの中の、その他の約10%のごみや容器プラ以外のプラごみは最後は海へ流れつき紫外線によって劣化し、波の力も加わり、小さな破片になり、さらに小さくなってマイクロプラスチックになります。

マイクロプラスチックの発生源は、他にもいろいろあることが、わかってきました。例えば私たちが着ている衣服の中には化学繊維でできたも

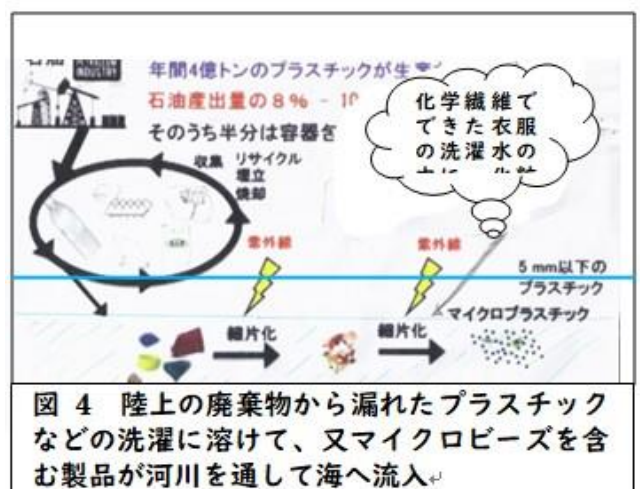


図4 陸上の廃棄物から漏れたプラスチックなどの洗濯に溶けて、又マイクロビーズを含む製品が河川を通して海へ流入



もあります。ポリエステルとか、アクリルとかの化学繊維でできた衣服を洗濯すると洗濯くずとして、繊維状のマイクロプラスチックが発生します。フリースというのはポリエステル性のものですが、これ洗濯すると1回の洗濯で2000本のマイクロプラスチックが発生することが報告されています。Tシャツなどもそうです。その他にも日常生活の中で使われている化粧品や洗顔料、歯磨き粉などにもマイクロプラスチックが含まれています。スポンジのたわしなども同様です。他にもタイヤや人工芝などからもマイクロプラスチックが発生しています。つまり、すべてのプラスチックは遅かれ早かれマイクロプラスチックになってしまうわけです。

## 2.海洋生物によるプラスチックの取り込み

海に入ってきたプラスチックは海の生物が食べてしまったり、マイクロプラスチックは食物連鎖を通じて生態系全体にひろがっていきます。

800種以上の海洋生物(海鳥、魚、貝、ウミガメ、クジラなど)がプラスチックを摂取しています。

例えば・タイのクジラの胃の中から80枚のレジ袋

- ・コスタリカのウミカメの鼻に刺さったストロー
- ・人間の体重に換算すると60gのプラスチックが胃の中に入って死亡した海鳥 など



図5 食物連鎖を通して汚染は生体全体に広がっている。

## 3.プラスチックに含まれる有害化学物と生物・人への影響

海に入ってきた、あるいは生物が取り込んだプラスチックには、どんな有害化学物質が入っているかという、一つは元々プラスチックに含まれる添加剤の中に有害なものがあります。もう一つは海水の中に、すでに溶け込んで分解されないで残っている農薬として使われていた DDT とか HCH、工業用の油として使われた PCB など水に溶けにくく油に溶けやすい物質です。現在は使用禁止になっていますが、それ以前に使われて海水中や海の底の泥の中に溜っていて、溶けだしたものです。

4.プラスチック汚染対策・環境と健康を守るために、どうやって減らしていくかということです。

- ① 先ず陸上での廃棄物管理をしっかり行う。
- ② 最終的に集めたプラスチックをどうするか。

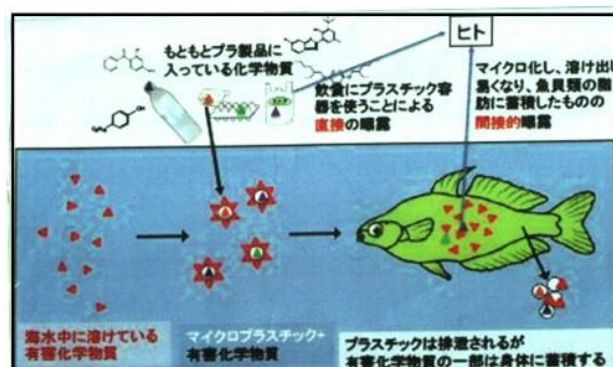


図6 プラスチックに、もともと含まれる有害化学物質と海水中にある有害化学物質を取り込む

現在日本では図7のように71%が焼却されています。  
 焼却して二酸化炭素にしてしまっは持続可能ではありません。

日本全体で発生しているプラスチックごみでリサイクルされているのは24%約1/4です。他の大部分は燃やされ、発生した熱エネルギーを使っているだけです。

リサイクルとは、原料にもどして同じプラスチックにすることですが、サーマルリサイクルはリサイクルではありません。

つまり、最終的処分が限られているのですから、入口を閉めるしかありません。つまりプラスチック自体の利用を止めるか、燃やすプラスチックを減らすしかありません。

それでも必要なプラスチックについては原料をバイオマスにすること、そうすることで海のプラスチック汚染を減らしていくしかありません。

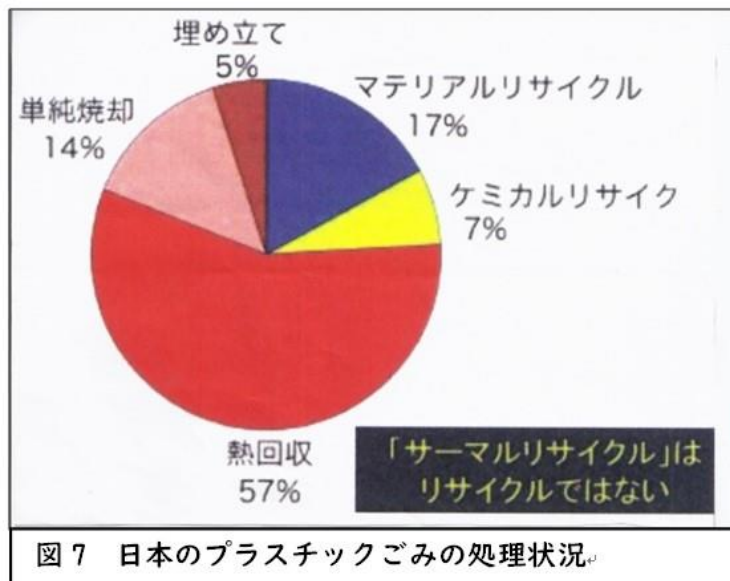


図7 日本のプラスチックごみの処理状況

私たちに求められることは、先ずは利用を減らすこと。

レジ袋・ペットボトル、ストローの使い捨て弁当箱・個包装のお菓子・液体せっけん等、色々な汚れたプラスチックが出て来る場面が私たちの身のまわりにありますが、使い捨てプラスチックを減らし、繰り返し使える物でもいずればマイクロプラスチックになるという視点で見直し、なるべくプラスチックでないものに素材自体を置き換えていくことも、私たちの生活や身を守る上で大事なことになってくると思います。

高田秀重著「海洋プラスチック汚染の現状と対策」より

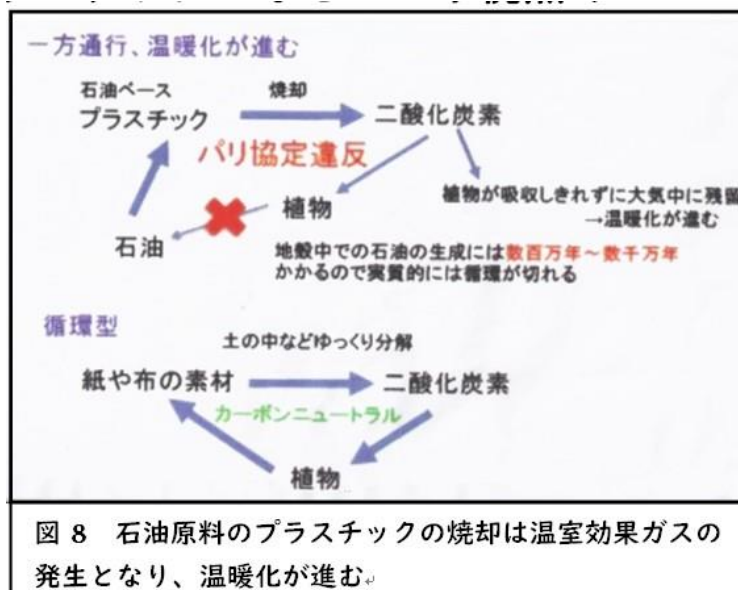


図8 石油原料のプラスチックの焼却は温室効果ガスの発生となり、温暖化が進む



# 二酸化炭素削減部会 ニュース

地球温暖化の主な原因である二酸化炭素の削減のための活動を続けています。

## ◇◇2022年2月～2022年8月の主な活動◇◇

### 1. 出前授業

#### (1) 2022/2/21 沼間中学校 (74名)

3年生向けに、On-lineにて授業を実施。On-lineのWeb設定(ZOOM)については、教育委員会にご尽力いただきました。

#### (2) 2022/3/3～4 久木中学校(125名)

3年向けに、対面での出前授業を実施。太陽光発電・風力発電・電球比較・燃料電池の実験を体験して貰いました。

#### (3) 2022/6/16 逗子中学校 (101名)

2年生向けに、SDG's教育の一環として、地球温暖化防止に関する講演を行いました。当部会以外のゴミ部会やまちなみ部会も講演を実施しています。これらの講演に基づく生徒のグループ活動の結果報告が9/16に開催される予定になっており、生徒諸君の発表が楽しみです。

#### (4) 2022/7/13 逗子市内小学校 (47名)

6年生向けに、対面での出前授業を実施。地球温暖化は自分の問題として捉え、エネルギーの大切さや省エネの効果を体感してもらう、自分でできる省エネについて考え実行してもらう事を目的としています。発電体験・照明比較などの実験体験や違い探しゲームを体験して貰いました。各自省エネ目標を立てた省エネカレンダーで毎日の実行記録つけ、そして家族を巻き込んだ違い探しゲームも試みました。

#### (5) 2022/8/18 教育委員会主催 夏季研修会 (3名)

逗子市教育研究相談センター様からのご依頼により、逗子市及び葉山町の小中学校の先生方へ、地球温暖化防止の出前授業の紹介と各種の実験を体験して頂きました。当初の予定は7名出席予定でしたが、当日にご都合の悪くなった方が4名ありました。教育委員会からのオブザーバ出席があり、教育委員会のご担当者に出前授業の概要をご理解頂けたと思います。

### 2. 地球温暖化防止啓蒙活動

#### (1) 2022/2/19 トモイク

- ・温暖化防止のパネル及び電車でGO!や発電体験の各ミニ版を展示しました。
- ・さざなみホールギャラリー会場では子どもフェスティバル時代の母親層から、地球温暖化問題について教えられたと感謝の言葉を受けました。

#### (2) 2022/6/11～12 ずしグリフェス

- ・当部会の出前授業のPRを兼ねた地球温暖化防止に関わる講演を行いました。
- ・電球比較・節電家族・電車でGO!を出店しました。また“節電”と“環境行動宣言”の2種類の県のトライ!マイエコ10宣言用紙を使って計20人の方にエコ10宣言をしていただきました。

### 3. 交通問題

#### (1) 2022/3/5 歩行者と自転車

「これからの逗子のまちについて話し合おう」にリモート会議に参加

### 4. その他

#### (1) 2022/4/23 部会の総会を開催



# ◇◇IPCC の第 6 次報告書◇◇

IPCC (Intergovernmental Panel on Climate Change、気候変動に関する政府間パネル) から、2013 年～2014 年に第 5 次評価報告書が公表されていきました。昨年(2021 年)の 8/7 から今年(2022 年)の 4/4 に掛けて、第 6 次評価報告書が公表されました。内容としては、記述が精緻になりましたが、温暖化防止のためにやるべきことは変わりません。以下に幣部会のずしグリフェスでの講演会で使用したスライドの抜粋を示しますので参考にして下さい。

図 1 世界の平均気温の変化の予測

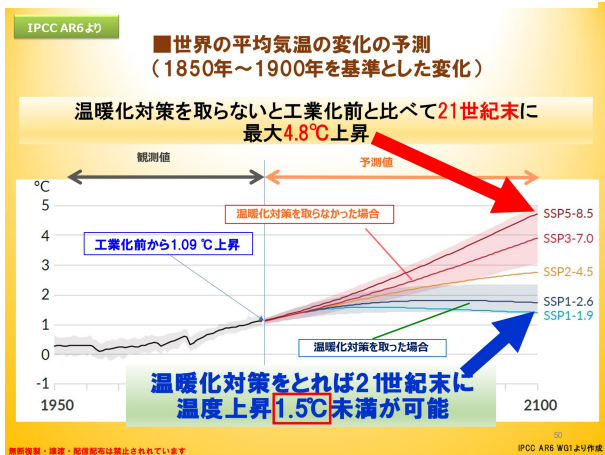


図 2 温室効果ガスの推移

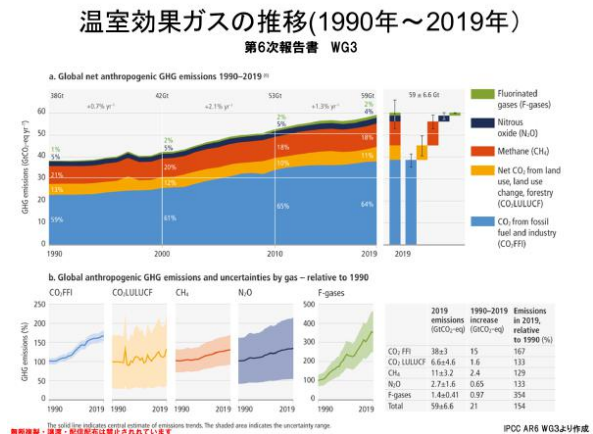


図 3 温室効果ガスの 1.5℃未達達成シナリオ

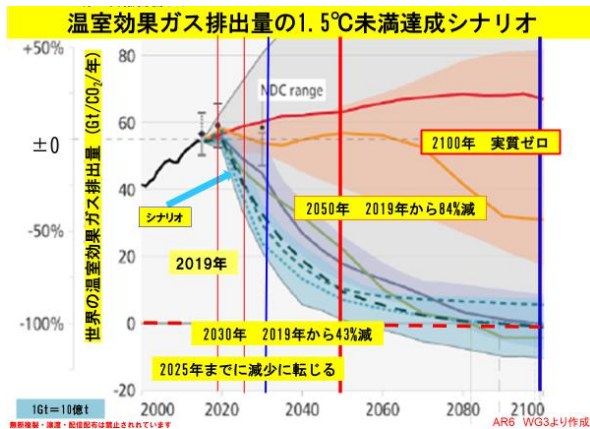


図 4 二酸化炭素の 1.5℃未達達成シナリオ

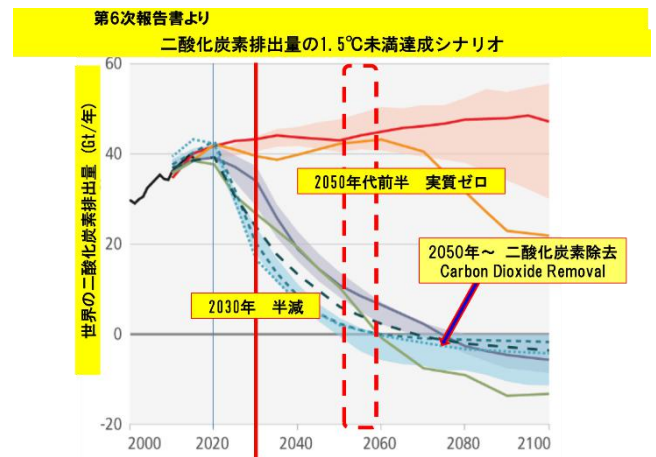


図 5 閣議決定 新エネルギー計画

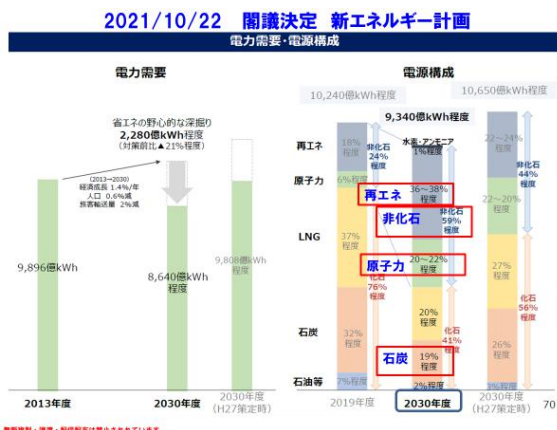


図 6 地球温暖化対策計画





図 7 家庭からの二酸化炭素排出量

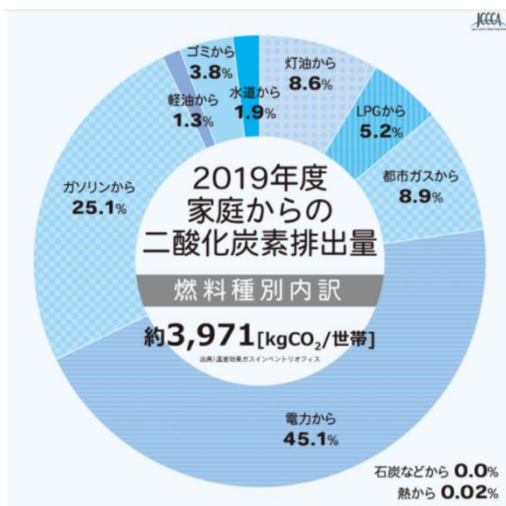


図 8 日本の電源構成

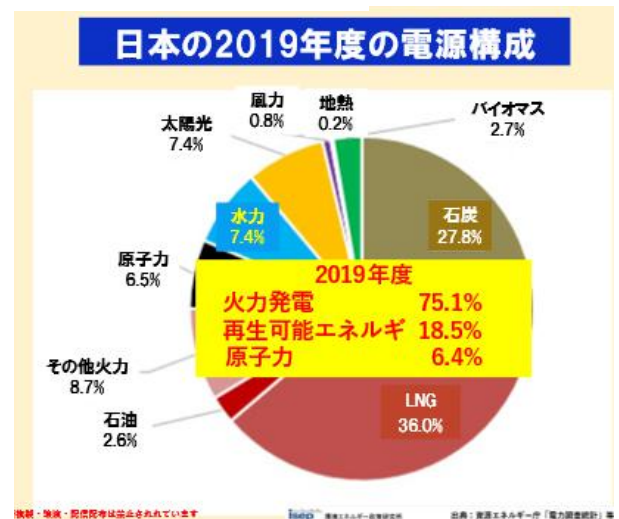


図 9 地球温暖化対策

### 地球温暖化対策

～温室効果ガスである二酸化炭素の排出量を減らす～  
**二酸化炭素の発生量を減らして温暖化を食い止める二つの柱**

**NO 1 省エネ……エネルギー消費量を減らす。**  
 ☆使い方を考える  
 ☆エネルギー消費の少ない高効率の電気製品を使う  
 ☆家の構造を断熱・密閉して熱の出入りを減らす  
**ZEH: ネットゼロエネルギーハウス**

**NO 2 二酸化炭素を発生しない電気を使う  
 再生可能エネルギーに転換する**

図 10 パリ協定と日本の目標

## パリ協定

☆2016年11月の時点で、192ヶ国と欧州連合(EU)

**■ 気温上昇を2℃未満に  
 できれば1.5℃未満に！**

**■ 二酸化炭素など温室効果ガスの排出量を今世紀末にゼロにする**

### 日本の目標

★ **2030年度に2013年度比46%減**  
 さらに50%の高みに向けて挑戦！

★ **2050年までに100%削減【実質ゼロ】**

引用・参考文献

IPCC 第6次報告書

<http://www.env.go.jp/press/109850.html>

<https://www.ipcc.ch/report/ar6/wg1/>

<https://www.ipcc.ch/report/ar6/wg3/>

全国地球温暖化防止活動推進センター／JCCA（二酸化炭素排出量）

<https://www.jccca.org>

<https://www.jccca.org/oyakudachi/download-list>

NPO 環境エネルギー政策研究所 (ISEP)／2019年度電力構成

<https://www.isep.or.jp/archives/library/12541>

2030年におけるエネルギー需給の見通し (P70)

[https://www.enecho.meti.go.jp/category/others/basic\\_plan/pdf/20211022\\_03.pdf](https://www.enecho.meti.go.jp/category/others/basic_plan/pdf/20211022_03.pdf)

地球温暖化対策計画 2021/10/22 閣議決定 (CO<sub>2</sub>削減新目標、P19)

<https://www.env.go.jp/content/900440195.pdf>

日本のNDC 2020/3/30 地球温暖化推進本部決定 (CO<sub>2</sub>削減旧目標 P10)

<https://www.env.go.jp/content/900515307.pdf>

(執筆者：二酸化炭素削減部会サポータ 荒木剛夫)